

第2期（R7） 第2回 地域・実践分科会

2025年12月2日
事務局

はじめに

第2期地域・実践分科会 年間計画

9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4-6月

第1回アンケート・意見集約
第2回資料の事前確認依頼

第2回アンケート・意見集約
第3回資料の事前確認依頼

第3回アンケート・意見集約
FW参加者募集

FWアンケート・意見集約
第4回資料の事前確認依頼

第4回アンケート
成果物確認

	第1回（10/16）	第2回（12月上旬）	第3回（1月下旬）	フィールドワーク（1・2月）	第4回（3月上旬）
テーマ	第2期キックオフ	事例を通じた議論 ① ・デットの活用 ・地域エコシステムの構築	事例を通じた議論 ② ・エクイティの活用 ・地域エコシステムの構築	・デットの活用 ・エクイティの活用 ・地域エコシステムの構築	第2期の総括
主担当	全員 ・司会・資料：事務局 ・挨拶：座長・副座長 ・意見交換モデレーター 工藤副座長（仮）	金融トラック ・担当DM 三井住友信託銀行、 JANPIA、肥後銀行、 京都信用金庫	事業トラック ・担当DM 商工会議所、UNERI、 Zebras and Company、 UntroD、うむさんラボ ベータ・ベンチャーキャピタル	全員	全員 ・総括・進行：金融トラック
アジェンダ	○キックオフ ・挨拶・紹介 （座長・副座長・DM） ・第1期振り返り ○第2期方針の共有 ・年間計画 ・成果物イメージ ・多様なファイナンス手法 の紹介 ・意見交換	○事例検討 ・ファイナンス手法 ・地域金融機関において取り 得るアプローチ ・成功・課題要素 ○成果物に関する意見交換 ・全体構成 ・選定事例	○事例検討 ・ファイナンス手法 ・連携のポイントと各者の役割 ・成功・課題要素 ○成果物に関する意見交換 ・活用方法（マップ） ・事例紹介方法	○企業ヒアリング・意見交換 ・地域の課題・現状 ・ファイナンス手法 ・地域金融機関において取り 得るアプローチ ・連携のポイントと各者の役割 ・成功・課題要素	○第2期分科会の総括 ・1～3回分科会、フィールド ワークの振り返り ・得られた成果と課題 ○成果物に関する意見交換 ○第3期に向けた意見交換 ・方針、進め方、取り組みた い事項など
目的（着地）	・第2期メンバー顔合わせ ・第2期方針の確認 ・年間計画の方向性決定 ・多様なファイナンス手法に 関する認識のすり合わせ	・事例検討を通じた多様な ファイナンス手法の洗い出しと 横展開の可能性検討 ・成果物構成案のブラッシュ アップ	・事例検討を通じた多様な ファイナンス手法の洗い出しと横 展開の可能性検討 ・成果物内容のブラッシュアップ	・企業ヒアリングを通じた多様な 事例の把握と横展開の可能 性検討 ・インパクトコンソーシアムの取 組周知によるすそ野拡大	・第2期分科会の議論を通じ て得られた成果と課題の整 理 ・成果物素案の確認 ・第3期の方向性の検討

成果物の作成・確認・完成

目次

1 座長挨拶：宜保座長

2 本日の議論テーマ：事務局

3 デット視点からの地域エコシステム構築支援：金井 様

4 事例紹介

- (1) 地域課題解決と企業価値向上を図るにあたり、地域金融機関が活用し得るファイナンス手法
 - 事例紹介：肥後銀行 様
- (2) 地域のインパクト企業の創出・育成を支えるブレンデッドファイナンス
 - ・ ブレンデッドファイナンスについて：事務局
 - ・ 政策金融機関について
 - 事例紹介①、②：事務局
 - 事例紹介③：DBJ 様
 - ・ 官民ファンドについて
 - 事例紹介④：事務局
 - 事例紹介⑤：SIIFIC 様
 - ・ その他の枠組について：事務局
 - 事例紹介⑥：事務局
 - 事例紹介⑦：JANPIA 様

5 意見交換：金谷副座長

6 閉会：宜保座長

2 本日の議論テーマ 前回の振り返り ～地域でのインパクトファイナンスに関する課題感～

なぜ(Why)インパクトが有用か

→ 意義の理解そのものはクリアしやすい

- 地域経済の持続を目的として、リスク勘案の上で、地域にポジティブな影響をもたらす意図を持ってファイナンスを意義を理解
- インパクトというレンズを通じて、多様な価値を再評価・再発見し、行動変容

自治体

資金の
出し手

中間
支援組織

事業
会社

住民

地場
大手企業

- 地域における課題解決の価値を、インパクトの考え方を通じて説得力ある方法で資金の出し手を含むステークホルダーに共有できる

実践(How)における課題

→ 実践面では、様々な組み合わせが存在することを理解してアプローチする必要がある

資金の出し手

銀行

信用金庫

VC

PEファンド

国

自治体

事業会社 (CVC)

etc.

- 実際の資金の出し手は、各機関毎に固有のリスク許容度とファイナンス手法を保有しており、**一機関であらゆるファイナンスに対応することは不可能**
- VCは首都圏に集中しており、事業者の目指す規模の目線が投資スコープに合わない等の理由で都市部以上に**リスクマネーの供給が限定的**
- 地域企業に単に資金を供給するだけでなく、**経営支援とより効果的なエンゲージメントのノウハウ**を持って初めて地域課題の解決にまで到達する

事業会社

A企業

B企業

C企業

D企業

etc.

- 経験に基づくそれなりの理屈があってもまだ非常にリスクが高いフェーズの企業において、デットによる調達の壁を超えられない
- 企業によって状況が異なる中で、自社が誰から・どのようなファイナンスを受けるのが適切であるかを判別できない

2 本日の議論テーマ

前頁で示した課題感を踏まえ、本日のテーマとして以下の2点を設定

- 1 地域課題解決と企業価値向上を図るにあたり、地域金融機関が活用し得るファイナンス手法
- 2 地域のインパクト企業の創出・育成を支えるブレンデッドファイナンス

現状課題

- 実際の資金の出し手は、各機関毎に固有のリスク許容度とファイナンス手法を保有しており、一機関であらゆるファイナンスに対応することは不可能
- VCは首都圏に集中しており、事業者の目指す規模の目線が投資スコープに合わない等の理由で都市部以上にリスクマネーの供給が限定的
- 地域企業に単に資金を供給するだけでなく、経営支援とより効果的なエンゲージメントのノウハウを持って初めて地域課題の解決にまで到達する



議論の方向性

- 実際の地域金融機関の取り組みについて深掘することにより、どのように地域課題を解決しているのかを具体的方法を知る。
- 広義でのブレンデッドファイナンスの活用事例を知ることにより、一機関では民間が取り切れない案件へのファイナンス手法に関して検討する機会を創出する。

目次

1 座長挨拶：宜保座長

2 本日の議論テーマ：事務局

3 デット視点からの地域エコシステム構築支援：金井 様

4 事例紹介

- (1) 地域課題解決と企業価値向上を図るにあたり、地域金融機関が活用し得るファイナンス手法
 - 事例紹介：肥後銀行 様
- (2) 地域のインパクト企業の創出・育成を支えるブレンデッドファイナンス
 - ・ ブレンデッドファイナンスについて：事務局
 - ・ 政策金融機関について
 - 事例紹介①、②：事務局
 - 事例紹介③：DBJ 様
 - ・ 官民ファンドについて
 - 事例紹介④：事務局
 - 事例紹介⑤：SIIFIC 様
 - ・ その他の枠組について：事務局
 - 事例紹介⑥：事務局
 - 事例紹介⑦：JANPIA 様

5 意見交換：金谷副座長

6 閉会：宜保座長

目次

1 座長挨拶：宜保座長

2 本日の議論テーマ：事務局

3 デット視点からの地域エコシステム構築支援：金井 様

4 事例紹介

- (1) 地域課題解決と企業価値向上を図るにあたり、地域金融機関が活用し得るファイナンス手法
 - 事例紹介：肥後銀行 様
- (2) 地域のインパクト企業の創出・育成を支えるブレンデッドファイナンス
 - ・ ブレンデッドファイナンスについて：事務局
 - ・ 政策金融機関について
 - 事例紹介①、②：事務局
 - 事例紹介③：DBJ 様
 - ・ 官民ファンドについて
 - 事例紹介④：事務局
 - 事例紹介⑤：SIIFIC 様
 - ・ その他の枠組について：事務局
 - 事例紹介⑥：事務局
 - 事例紹介⑦：JANPIA 様

5 意見交換：金谷副座長

6 閉会：宜保座長

目次

1 座長挨拶：宜保座長

2 本日の議論テーマ：事務局

3 デット視点からの地域エコシステム構築支援：金井 様

4 事例紹介

- (1) 地域課題解決と企業価値向上を図るにあたり、地域金融機関が活用し得るファイナンス手法
 - 事例紹介：肥後銀行 様
- (2) 地域のインパクト企業の創出・育成を支えるブレンデッドファイナンス
 - ・ ブレンデッドファイナンスについて：事務局
 - ・ 政策金融機関について
 - 事例紹介①、②：事務局
 - 事例紹介③：DBJ 様
 - ・ 官民ファンドについて
 - 事例紹介④：事務局
 - 事例紹介⑤：SIIFIC 様
 - ・ その他の枠組について：事務局
 - 事例紹介⑥：事務局
 - 事例紹介⑦：JANPIA 様

5 意見交換：金谷副座長

6 閉会：宜保座長

4-(2) 地域のインパクト企業の創出・育成を支えるブレンデッドファイナンス ～ブレンデッドファイナンスについて～

ブレンデッドファイナンスの主な効果

ファーストロス

公的資金が初期損失を優先的に負担し、民間金融の損失リスクを軽減。これにより投資参入のハードルを下げ、資金流入を促進

信用力増強

影響力・目利き力・認知度等のある外部資金が入ることで、民間資金の呼び込みを容易に

リターンエンハンスメント

公的資金が低利等の譲許的なファイナンスを提供することで収益を補強し、民間金融がリスクに見合う収益性を確保し、ファイナンス意義が向上

政治リスク軽減

国際機関や政府の関与により、政策変更や資産没収などの政治リスクを緩和。長期投資の安定性を確保し、安心感を提供

呼び水効果

公的資金やリスクマネーが先行することで、以下の効果が期待できる。

- ・ 単独では難しい案件に対して民間資金の投入が可能に
- ・ 資金調達規模が拡大
- ・ 資金流入の促進を契機に社会的インパクトが創出

4-(2) 地域のインパクト企業の創出・育成を支えるブレンデッドファイナンス ～ブレンデッドファイナンスについて～

本日の議論のステップ

- ファイナンスニーズが多様化しており、一機関であらゆるファイナンスを対応することは困難であることから、その解決策のファイナンス手法として、ブレンデッドファイナンスの活用について取り上げる。
- 本分科会においては、様々な手法を共有する観点から“広義”のブレンデッドファイナンスについて「呼び水型の資金連携事例」を紹介する。

地域金融機関単独では対応できない ファイナンスニーズ

- ・ 大型案件への資金供給力不足
- ・ 高リスク分野・新規事業
- ・ リスク分散が困難
- ・ 専門性やノウハウの不足

⇒外部資金とのブレンドにより対応可能
「呼び水型の資金連携事例」としてブレンデッド
ファイナンスへ着目

ブレンデッドファイナンスの 「呼び水型の資金連携事例」

政策金融

- ① ソーシャルビジネス支援資金（JFC）
- ② 資本性ローン（JFC）
- ③ ソーシャルインパクトボンド（DBJ）

官民ファンド（国、自治体）

- ④ リアルテックファンド（JIC）
- ⑤ SIIFICウェルネスファンド（中小機構）

その他

- ⑥ 企業版ふるさと納税・クラウドファンディングの活用促進
- ⑦ 休眠預金（JANPIA）

類型化および意味付け

ブレンドによりファイナンス可能になる仕組

- ✓ リスク分担・資金補完
- ✓ 資金量の増強
- ✓ 多様な資金ニーズへの対応
- ✓ 専門性の補完

非財務面でのブレンド効果

- ✓ ノウハウの提供
- ✓ ネットワークの形成
- ✓ ブランド力の向上

地域金融機関にとって、ブレンドしてまで資金提供することのポジティブリターン

- ✓ 新規事業への参入
- ✓ リスク低減・資産ポートフォリオの改善
- ✓ 地域経済活性化

4-(2) 地域のインパクト企業の創出・育成を支えるブレンデッドファイナンス ～ブレンデッドファイナンスについて～

本分科会における分類

本分科会においては、様々な手法を共有する観点から“広義”のブレンデッドファイナンスについて以下のとおり分類し、それぞれ「**呼び水型の資金連携事例**」を紹介する。

政策金融

公益性が高いものの、リスク評価が困難な場合や、深いリスクテイクをすることが必要な場合に融資や投資等の金融的手法により目的を達成する政策手段

事例①：ソーシャルビジネス支援資金（JFC）

事例②：資本性ローン（JFC）

事例③：ソーシャルインパクトボンド（DBJ）

官民ファンド （国・自治体）

国や自治体と民間が、イノベーション促進や地域活性化等、特定の目的を達成するために、共同で設立し出資を行うファンド

事例④：リアルテックファンド（JIC）

事例⑤：SIIFICウェルネスファンド（中小機構）

休眠預金活用

休眠預金の活用により行政が対応困難な社会課題の解決と民間公益活動の自立した担い手の育成を図る事業

事例⑥：劣後出資（JANPIA）

ふるさと納税・ クラウドファンディング

社会課題解決に資する資金を金融機関以外の資金から供給する手段を広範に捉え、ふるさと納税・クラウドファンディングの活用についても紹介

事例⑦：ふるさと納税活用推進の取組

目次

1 座長挨拶：宜保座長

2 本日の議論テーマ：事務局

3 デット視点からの地域エコシステム構築支援：金井 様

4 事例紹介

- (1) 地域課題解決と企業価値向上を図るにあたり、地域金融機関が活用し得るファイナンス手法
 - 事例紹介：肥後銀行 様
- (2) 地域のインパクト企業の創出・育成を支えるブレンデッドファイナンス
 - ・ ブレンデッドファイナンスについて：事務局
 - ・ 政策金融機関について
 - 事例紹介①、②：事務局
 - 事例紹介③：DBJ 様
 - ・ 官民ファンドについて
 - 事例紹介④：事務局
 - 事例紹介⑤：SIIFIC 様
 - ・ その他の枠組について：事務局
 - 事例紹介⑥：事務局
 - 事例紹介⑦：JANPIA 様

5 意見交換：金谷副座長

6 閉会：宜保座長

目次

1 座長挨拶：宜保座長

2 本日の議論テーマ：事務局

3 デット視点からの地域エコシステム構築支援：金井 様

4 事例紹介

- (1) 地域課題解決と企業価値向上を図るにあたり、地域金融機関が活用し得るファイナンス手法
 - 事例紹介：肥後銀行 様
- (2) 地域のインパクト企業の創出・育成を支えるブレンデッドファイナンス
 - ・ ブレンデッドファイナンスについて：事務局
 - ・ 政策金融機関について
 - 事例紹介①、②：事務局
 - 事例紹介③：DBJ 様
 - ・ 官民ファンドについて
 - 事例紹介④：事務局
 - 事例紹介⑤：SIIFIC 様
 - ・ その他の枠組について：事務局
 - 事例紹介⑥：事務局
 - 事例紹介⑦：JANPIA 様

5 意見交換：金谷副座長

6 閉会：宜保座長

目次

1 座長挨拶：宜保座長

2 本日の議論テーマ：事務局

3 デット視点からの地域エコシステム構築支援：金井 様

4 事例紹介

- (1) 地域課題解決と企業価値向上を図るにあたり、地域金融機関が活用し得るファイナンス手法
 - 事例紹介：肥後銀行 様
- (2) 地域のインパクト企業の創出・育成を支えるブレンデッドファイナンス
 - ・ ブレンデッドファイナンスについて：事務局
 - ・ 政策金融機関について
 - 事例紹介①、②：事務局
 - 事例紹介③：DBJ 様
 - ・ 官民ファンドについて
 - 事例紹介④：事務局
 - 事例紹介⑤：SIIFIC 様
 - ・ その他の枠組について：事務局
 - 事例紹介⑥：事務局
 - 事例紹介⑦：JANPIA 様

5 意見交換：金谷副座長

6 閉会：宜保座長

目次

1 座長挨拶：宜保座長

2 本日の議論テーマ：事務局

3 デット視点からの地域エコシステム構築支援：金井 様

4 事例紹介

- (1) 地域課題解決と企業価値向上を図るにあたり、地域金融機関が活用し得るファイナンス手法
 - 事例紹介：肥後銀行 様
- (2) 地域のインパクト企業の創出・育成を支えるブレンデッドファイナンス
 - ・ ブレンデッドファイナンスについて：事務局
 - ・ 政策金融機関について
 - 事例紹介①、②：事務局
 - 事例紹介③：DBJ 様
 - ・ 官民ファンドについて
 - 事例紹介④：事務局
 - 事例紹介⑤：SIIFIC 様
 - ・ その他の枠組について：事務局
 - 事例紹介⑥：事務局
 - 事例紹介⑦：JANPIA 様

5 意見交換：金谷副座長

6 閉会：宜保座長

目次

1 座長挨拶：宜保座長

2 本日の議論テーマ：事務局

3 デット視点からの地域エコシステム構築支援：金井 様

4 事例紹介

- (1) 地域課題解決と企業価値向上を図るにあたり、地域金融機関が活用し得るファイナンス手法
 - 事例紹介：肥後銀行 様
- (2) 地域のインパクト企業の創出・育成を支えるブレンデッドファイナンス
 - ・ ブレンデッドファイナンスについて：事務局
 - ・ 政策金融機関について
 - 事例紹介①、②：事務局
 - 事例紹介③：DBJ 様
 - ・ 官民ファンドについて
 - 事例紹介④：事務局
 - 事例紹介⑤：SIIFIC 様
 - ・ その他の枠組について：事務局
 - 事例紹介⑥：事務局
 - 事例紹介⑦：JANPIA 様

5 意見交換：金谷副座長

6 閉会：宜保座長

4-(2) 地域のインパクト企業の創出・育成を支えるブレンデッドファイナンス ～その他～

◆ 企業版ふるさと納税

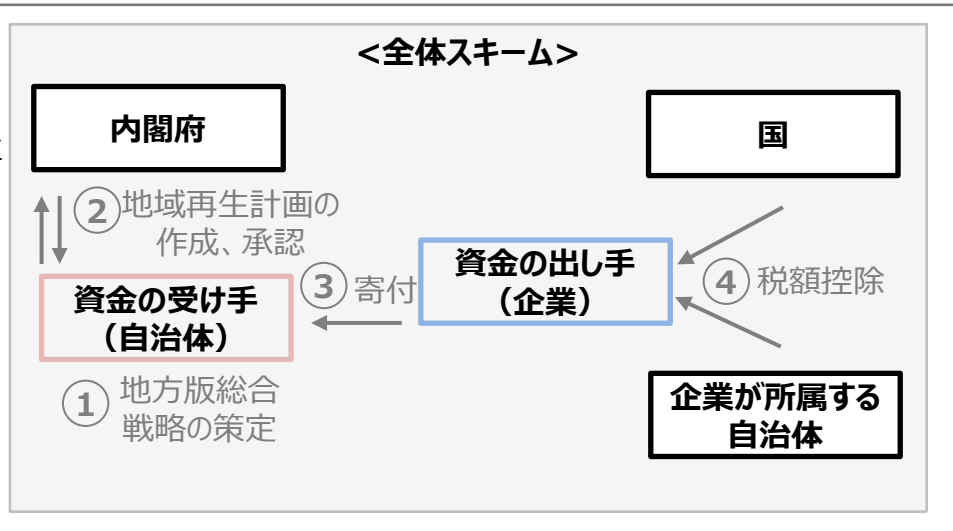
一般的な事例

■ 制度概要

内閣府が認定した地域再生計画に位置付けられる地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組み

■ メリット

損金算入による軽減効果（寄附額の約3割）と合わせて、令和2年度税制改正により拡充された税額控除（寄附額の最大6割）により、最大で寄附額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担が約1割まで圧縮される。



◆ クラウドファンディング

一般的な事例

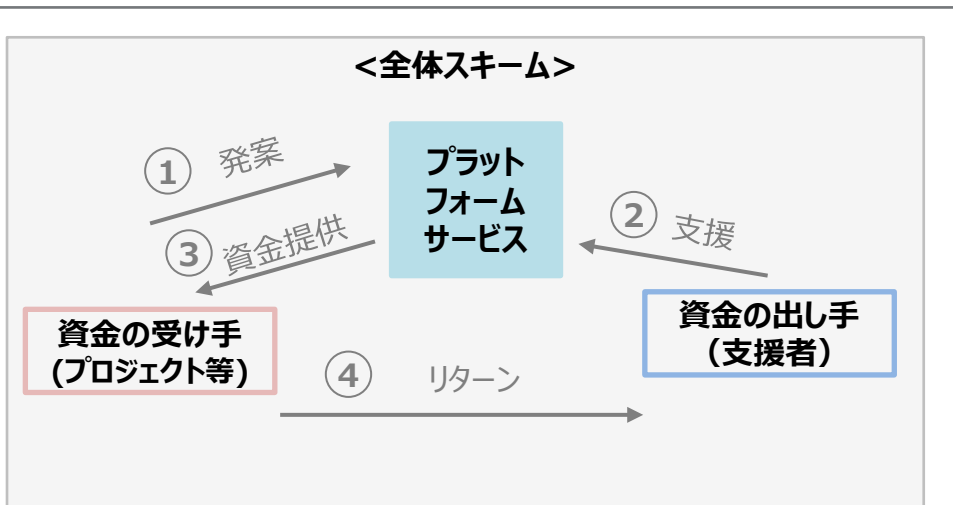
■ 制度概要

インターネット等を通じて、不特定多数の個人等から小口のお金を集め、お金を必要とする個人や企業・団体、プロジェクトに提供する仕組み

■ メリット

クラウドファンディングのメリット（リターン）は以下の3つに分類できる。

- 購入型：購入することでプロジェクトを支える。リターンは購入した物品や権利。
- 寄付型：従来の寄付と大きく異なるのは、プロジェクトの進捗状況を報告することで透明性がある。リターンは求めない。
- 金融型：プロジェクトに対して投資したり融資を行う。リターンとして、株式や利子・配当収入を得られる。



目次

1 座長挨拶：宜保座長

2 本日の議論テーマ：事務局

3 デット視点からの地域エコシステム構築支援：金井 様

4 事例紹介

- (1) 地域課題解決と企業価値向上を図るにあたり、地域金融機関が活用し得るファイナンス手法
 - 事例紹介：肥後銀行 様
- (2) 地域のインパクト企業の創出・育成を支えるブレンデッドファイナンス
 - ・ ブレンデッドファイナンスについて：事務局
 - ・ 政策金融機関について
 - 事例紹介①、②：事務局
 - 事例紹介③：DBJ 様
 - ・ 官民ファンドについて
 - 事例紹介④：事務局
 - 事例紹介⑤：SIIFIC 様
 - ・ その他の枠組について：事務局
 - 事例紹介⑥：事務局
 - 事例紹介⑦：JANPIA 様

5 意見交換：金谷副座長

6 閉会：宜保座長

目次

1 座長挨拶：宜保座長

2 本日の議論テーマ：事務局

3 デット視点からの地域エコシステム構築支援：金井 様

4 事例紹介

- (1) 地域課題解決と企業価値向上を図るにあたり、地域金融機関が活用し得るファイナンス手法
 - 事例紹介：肥後銀行 様
- (2) 地域のインパクト企業の創出・育成を支えるブレンデッドファイナンス
 - ・ ブレンデッドファイナンスについて：事務局
 - ・ 政策金融機関について
 - 事例紹介①、②：事務局
 - 事例紹介③：DBJ 様
 - ・ 官民ファンドについて
 - 事例紹介④：事務局
 - 事例紹介⑤：SIIFIC 様
 - ・ その他の枠組について：事務局
 - 事例紹介⑥：事務局
 - 事例紹介⑦：JANPIA 様

5 意見交換：金谷副座長

6 閉会：宜保座長

- **地域金融機関は金融面・非金融面での支援を組み合わせ、地域の社会課題解決と企業価値向上を目指す事業を支える力がある。**
そこで、地域金融機関がその期待される機能を十二分に発揮し輝くためには、どのようなことができるか。
- **社会課題解決と企業価値向上を目指す事業への投融資に関して、地域金融機関のみでは資金ニーズに十分に応えられない場合、属性の異なる他の資金提供者との連携やその活用が考えられる。**
そうした連携・活用を促進するうえで、どのような課題があるか。

目次

1 座長挨拶：宜保座長

2 本日の議論テーマ：事務局

3 デット視点からの地域エコシステム構築支援：金井 様

4 事例紹介

- (1) 地域課題解決と企業価値向上を図るにあたり、地域金融機関が活用し得るファイナンス手法
 - 事例紹介：肥後銀行 様
- (2) 地域のインパクト企業の創出・育成を支えるブレンデッドファイナンス
 - ・ ブレンデッドファイナンスについて：事務局
 - ・ 政策金融機関について
 - 事例紹介①、②：事務局
 - 事例紹介③：DBJ 様
 - ・ 官民ファンドについて
 - 事例紹介④：事務局
 - 事例紹介⑤：SIIFIC 様
 - ・ その他の枠組について：事務局
 - 事例紹介⑥：事務局
 - 事例紹介⑦：JANPIA 様

5 意見交換：金谷副座長

6 閉会：宜保座長

再掲：年間計画

9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4-6月

第1回アンケート・意見集約
第2回資料の事前確認依頼

第2回アンケート・意見集約
第3回資料の事前確認依頼

第3回アンケート・意見集約
FW参加者募集

FWアンケート・意見集約
第4回資料の事前確認依頼

第4回アンケート
成果物確認

	第1回（10/16）	第2回（12月上旬）	第3回（1月下旬）	フィールドワーク（1・2月）	第4回（3月上旬）
テーマ	第2期キックオフ	事例を通じた議論 ① ・デットの活用 ・地域エコシステムの構築	事例を通じた議論 ② ・エクイティの活用 ・地域エコシステムの構築	・デットの活用 ・エクイティの活用 ・地域エコシステムの構築	第2期の総括
主担当	全員 ・司会・資料：事務局 ・挨拶：座長・副座長 ・意見交換モデレーター 工藤副座長（仮）	金融トラック ・担当DM 三井住友信託銀行、 JANPIA、肥後銀行、 京都信用金庫	事業トラック ・担当DM 商工会議所、UNERI、 Zebras and Company、 UntroD、うむさんラボ ベータ・ベンチャーキャピタル	全員	全員 ・総括・進行：金融トラック
アジェンダ	○キックオフ ・挨拶・紹介 （座長・副座長・DM） ・第1期振り返り ○第2期方針の共有 ・年間計画 ・成果物イメージ ・多様なファイナンス手法 の紹介 ・意見交換	○事例検討 ・ファイナンス手法 ・地域金融機関において取り 得るアプローチ ・成功・課題要素 ○成果物に関する意見交換 ・全体構成 ・選定事例	○事例検討 ・ファイナンス手法 ・連携のポイントと各者の役割 ・成功・課題要素 ○成果物に関する意見交換 ・活用方法（マップ） ・事例紹介方法	○企業ヒアリング・意見交換 ・地域の課題・現状 ・ファイナンス手法 ・地域金融機関において取り 得るアプローチ ・連携のポイントと各者の役割 ・成功・課題要素	○第2期分科会の総括 ・1～3回分科会、フィールド ワークの振り返り ・得られた成果と課題 ○成果物に関する意見交換 ○第3期に向けた意見交換 ・方針、進め方、取り組みた い事項など
目的（着地）	・第2期メンバー顔合わせ ・第2期方針の確認 ・年間計画の方向性決定 ・多様なファイナンス手法に 関する認識のすり合わせ	・事例検討を通じた多様な ファイナンス手法の洗い出しと 横展開の可能性検討 ・成果物構成案のブラッシュ アップ	・事例検討を通じた多様なフ ァイナンス手法の洗い出しと横 展開の可能性検討 ・成果物内容のブラッシュアップ	・企業ヒアリングを通じた多様な 事例の把握と横展開の可能 性検討 ・インパクトコンソーシアムの取 組周知によるすそ野拡大	・第2期分科会の議論を通じ て得られた成果と課題の整 理 ・成果物素案の確認 ・第3期の方向性の検討

成果物の作成・確認・完成

本日のアンケート

第2回地域・実践分科会アンケート

※2025/12/9（木）回答期限



<https://forms.office.com/e/Bn2yfegFeg>